

# TEKNA

こどもたち

MJM 東京 2014 Summer

平和、愛、赦し

佐藤光子 2014年8月

女性の教育の権利と自由を訴えているパキスタンの活動家マララ・ユスフザイさんは2012年、女子教育を否定する過激派タリバンに銃撃され奇跡的に助かった。今年4月同じく過激派のボコ・ハラムがナイジェリアで200人の少女たちを誘拐した。ボコ・ハラムとは“西洋教育は悪”という意味だそうである。マララさんはこの事件について「ナイジェリアの少女たちは私達の姉妹、彼女たちのために声を挙げよう。それが私たちの責務だ」と発言した。また彼女は自分が狙撃された後も、「自分を撃ったタリバンを憎まない。もし自分が銃を持ち、彼らが目の前に立っても撃たない」とも語った。

この発言こそタリバンが望まない教育の成果ではないだろうか。

暴力に毅然として立ち向かう16歳の少女に世界は感動した。

ボコ・ハラムが勢力を伸ばしているナイジェリアの北部はキリスト教徒が多く急速な発展を遂げた。一方南部は貧しく教育も行き渡っていない。背景にある貧困、失業などの社会問題をないがしろにせず解決していかななくてはならない。貧しく教育を受けられない人々が過激派に取り込まれる事実がある。

平和について考えるとき平和とは自然に在るものではなく作り出すものであることを忘れがちである。

平和を作り出すものは幸いである、とイエス様は言われる。

又、イエス様は右の頬を打たれたら左も向けなさい、自分を攻撃するものに復讐するな、とも言われた。

\* 2011年ノルウェー・オスロで連続テロ事件があった。事件の犠牲者追悼式での首相の宣言。「悪は人を殺すことはできる。しかし決して人々を征服することは出来ない」

\* パレスチナ人の医師は娘3人をイスラエル兵に殺された。生き残った娘は右目と右手の指を失った。彼女は勉強する、と言う。

父は語る。「それでも私は憎まない。憎しみは病です」

\*\*\*\*\*

八月は日本人にとって平和と戦争について考える月です。6日の広島原爆の日、9日の長崎原爆の日、そして15日の終戦記念日です。日本社会の高齢化が進み戦争経験者がいなくなることで戦争体験が急速に忘れられていく危険があります。69年間日本は戦争をしない国、人を殺さず、殺されない国の歴史を歩んできました。戦争の真実を語り継ぐことが大切です。誤った戦争をしないために、次世代に負の遺産を継がせない事が重要です。

\* 義の実は、平和を実現する人たちによって、平和のうちに蒔かれるのです。(ヤコブの手紙3-18)  
神様、どうか私たちが平和を作り出すものとして用いてください。 アーメン

## 例会の報告

### 2013年度9月の例会

9月4日(水)

管区事務所会議室

出席者：森泉弘次、佐藤光子、阿部、塚田、三浦、元村

キャンドル会方式による聖書会

(ヨハネによる福音書20章19-29)

ーイエス、弟子たちに現れる・イエスとトマス

私はキャンドル会方式の聖書会が好きです。

同じ箇所を読んでいるのに、前回と今回は気付くことが違い、

また同じ箇所を読んでいるのに、一緒に読んでいる人達の気付きは

様々です。これは聖書に無限の可能性があるのでと思います。

今回心に強く残ったことを1つだけ記します。

・イエスは「あなた方に平和がある様に」(以下、シャロームと記します)

を3回繰り返します。

↓

①十字架の後の日曜日に、弟子たちのもとに現れ、「シャローム」

手と脇腹を見せる。(弟子達喜ぶ)

②再度「シャローム」と言い、息を吹きかけ、聖霊を授ける。

③1週間後の日曜日、前回居なかったトマスもいる弟子達のもとに現れ、

「シャローム」と言う。(疑っていたトマスの信仰を導く)

これは単に弟子の1人であるトマスの信仰物語ではなく、トマスを通して、同時代のイエスをまだ知らない人達への平和のメッセージではないか・・・

そして、知らないと言う意味では、同時代のイエスに会ってない私達に向けてのメッセージでもある。

わかっているつもりでいた・・・

でも自分を同時代に置いてみる・・・

“見たから信じるのか？見ないのに信じるものは幸いである”

この言葉がいつまでも心に響く。

各々の想いを決して否定することなく、皆で分かち合うキャンドル方式で得た

気付きであり、学びに感謝です。

(元村記)

### 10月の例会

10月18日(金) 聖ルカの日

管区事務所会議室にて

植松 功兄による「テゼの祈りの会」

出席者：三浦万都美・森泉澄江・下山由紀子(バルセロナ日本語で聖書を読む会)・塚田・江間・阿部

どんな人々にも闇の物語がある。マザーテレサでさえ、彼女のメモの中に、彼女の闇の世界を書いている。

出席者の闇をそれぞれ述べた。それぞれの闇の世界をきちんと直視することで初めて光の世界が見えてくる。闇が深ければ深いほど、神様のお恵みを感じることができるのかもしれない。

バルセロナから、日本語で聖書を読む会の主催者の下山由紀子さんが一時帰国中で参加して下さった。我々も同じように日本を離れてNYで神様のみ言葉を求めてきた。バルセロナでも多くの兄弟姉妹が救われて、ついに最近洗礼を受けられた方がいらっしやるのか。

それぞれの闇の向こうに必ず光があると信じて共に歩んでいきたい。(阿部記)

### 11月の例会

11月22日(金)

管区事務所会議室

テーマ：自然とみ言葉

神の創造されたこの地自然を、私達はどれだけ欲しい感じながら生活しているでしょうか？

出席者：森泉弘次、森泉澄江、三浦万都美、阿部園子

吉村庄司司祭

マタイによる福音書(6:29-7:12)の中から自然に関する言葉を見つけだした。また、吉村司祭より「出会いの神秘」<自然との出会い>から~わたしを支える宇宙に感動する~という以前書かれた文章を頂き、創世記の中でも自然がいかに大きくとらえられているかをあらためて感じることできた例会でした。(阿部記)

### 12月の例会 クリスマス会

日時：12月4日(水)

場所：聖アンデレ教会、アンデレホール

出席者：吉村司祭、森泉弘次、澄江、佐藤光子、阿部、塚田、坂下、大蔵、元村、三浦

今年は、吉村司祭様をお迎えして、聖アンデレ教会で、聖餐式のクリスマス礼拝ができました。森泉さんがお話をして塚田さんがサーバーをしました。三浦が礼拝式文を用意しました。聖アンデレ教会のご協力に深く感謝します。

アンデレホールでクリスマスの祝会をしました。光子さんのピアノで沢山クリスマスキャロルを歌いました。

元村さんが具沢山のサンドウィッチを、阿部さんがいつもの美味しいケーキをそして澄江さんがいつもの長野の甘いりんごを準備して、皆とても美味しくいただきました。最後に歌いながらプレゼント廻すプレゼント交換会は、皆さん少ない予算の中、心のこもったプレゼントを準備されているので、とても楽しく盛り上がりました。

MJM NY からロイド司祭とエリザベスへメッセージカードを送ってほしいとの連絡があり、クリスマスカードに皆で近況を一言書き送りました。7月にロイド司祭とエリザベスは、ヨンカースのご自宅からホワイトプレインズにある介護施設に移られました。介護サービスが行き届いたとても美しい所で、ご本人たちも、彼らのお子様たちもたいへん喜んでおられます。おふたりともとてもお元気とのこと。主に感謝します。(三浦記)

## 2014 年度 1 月の例会

1月24日(金)

「日本の自然と食文化」

創世記1章24-31節

三鷹教会にて 平池芳樹牧師のお話し

出席者：阿部、佐藤、森泉夫妻、三浦、山根

お話し：神は自然化の最大のものとして人間を創造された。そして、彼らに食べ物を与えられた。支配しなさいというのはコントロールしなさいという意味である。自然との共存は一方が増えすぎないことである。

今問題になっている隣国との関係では、我々はどこから来たのかという事を考えるとき、隣国と深いつながりがあること、日本が文化の行き止まりでそれぞれの国と深いつながりがあることを知って共存の道を探れないか。

日本の食文化のルーツは江戸中期に生まれた醤油にあると言えるのではないかと。北海道から寒流、親潮で育った昆布が北前船で関西に運ばれ、黒潮で育った鰹が土佐の方面から江戸に運ばれて生まれた。

醤油は初めは関東で生まれた。鰹節で採った出汁の臭みを消すために味が濃くなったがこれが関西では昆布の味が濃口では出ないで薄口の醤油となった。

この他、お酒と蕎麦、鰻等々、食について興味深いお話だった。

担当：山根

## 2 月の例会

2月27日(木)

管区事務所会議室

出席者：森泉、佐藤、阿部、辛島、坂下

テーマ：「精神と肉体のバランス—骨格構造」

昨年に引き続き、この場をお借りして、代替医療について語らせていただきました。

- ① 私が新リンパ療法に出会ったきっかけ
- ② 現代医療と代替医療の比較と問題点
- ③ 代替医療の1つである新リンパ療法についてとその目指す方向性について

西洋医学に基づく現代医療が主流をなす中で、特に日本では代替医療の認知度はまだまだです。しかし、病気の現象だけを捕える(対処療法)のではなく、病気の起因を追究すれば、“病気は薬やメスだけでは治らない。人間本来備えられている自然治癒力(神様のお恵み)をあげることが病気を治す”と言えます。

では「新リンパ療法」とは何か?と申しますと、骨格のズレ、筋肉の硬結を取ることで体内に漂っている水毒、脂肪、老廃物を体外へ排泄し、免疫機能を高め自然治癒力を上げる療法です。リンパの働きは排毒(排便、排尿)と免疫力向上があります。

将来の医療は身体の構造にもっと着目すべきではないでしょうか?

またその構造面ですが、精神と深い拘り合いがあります。精神的なショックを受けるとか negative な思考など、体

にかかったストレスは筋肉を硬直し骨格をも歪ませてしまいます。

私達は施術を始める前にカウンセリングをして、お体の状態、症状を伺い、最後にこんな質問をします。「体の辛いところが治ったら、何をしたいですか?」と。すると、だれもが元気になった様子を思い描くでしょう。それから共に施術が始まるのです。

人間の身体は精神と肉体があって1つの身体です。健全な肉体があったはじめて健康といえるのではないのでしょうか。

これが、私たち新リンパ療法師が目ざす新リンパ療法なのです。  
(記・坂下)

## 3 月の例会

3月26日(水)

良寛と聖フランシスの自然観

森泉弘次

良寛は自然を友として生きた江戸時代後期の仏僧、聖フランシスは貧しさに徹し、鳥や獣に福音を説いた中世イタリアの修道士。六百年近い時代の差がありますが、共に自然をこよなく愛した点が共通です。晩年病いで死に近づいた良寛に何か形見をとせがんだ女性に良寛が贈った和歌は「形見とて何を残さん 春は花、夏ほととぎす、秋はもみじ葉」でした。子供を教え共々に遊んだ良寛が懐かしい!

イエスにならってすべての被造物に愛情を注いだ聖フランシスは、死期の近さを悟ったある日あの有名な太陽讃歌をつくりました。「わが主を讃えよ、すべての被造物をもって、わけても兄弟なる太陽をもって」と。臨終に際しては「姉妹なる死よ」と呼びかけて天に召されました。

民衆と共に生き、野の花、空の鳥に神の限らない恩寵を見出した神の人イエスを指さし続けたかのような二人の聖者の生き方でした。

## 4 月の例会

4月30日(水)

聖オルバン教会会議室

「ヤコブへの手紙」

出席者：金城由佳子、工藤貴美子、佐藤光子、森泉弘次、森泉澄江、吉村庄司司祭、三浦万都美、阿部園子

いつもアグネスでの「十字架の道行」の礼拝を楽しみにして下さっているMJM東京の皆様教区の人事異動に伴いアグネスでの「十字架の道行」の礼拝にお誘いすることができませんでした。

今年は三浦さんに手配をしていただき、聖オルバン教会で

「ヤコブへの手紙」の映画を鑑賞しました。  
「ヤコブへの手紙」の映画のあらすじは映画のオフィシャルサイトから引用いたしました。

1970年台のフィンランドの片田舎白樺に囲まれた古い家。深い後悔を胸に秘め12年間暮らした刑務所から出て来たレイラ。

人々からの手紙を待ち続ける盲目の年老いた牧師ヤコブ。そして悩める人々からヤコブ牧師への手紙を届ける郵便配達人。

3人の3人の登場人物が紡ぐやさしくて暖かいある物語。深い絶望の淵に立った時、あなたのことを思っている存在がどこかにいたら？

「あなたの幸運を祈っている。私はあなたのために祈る。」その一言が、孤独と絶望を癒し希望へと導く。

映画の余韻に浸りながら、オルバンでのお昼の聖餐式に出席させていただき本当に恵み多い一日でした。(阿部記)

## 5月の例会

担当佐藤光子

5月21日春の小雨も降りやみ穏やかな春の陽がさす新生教会で土橋牧師先生のお話を聞いた。

テーマ：「主の食卓」を巡って

出席者：吉村庄司司祭、阿部、三浦、元村、森泉浩次、澄江、佐藤光子

土橋先生が用意して下さったオープン聖餐(未受洗者餐)についてのレジュメを参考にお話が進んだ。

オープン聖餐礼拝を守っていた日本基督教団の教会牧師が懲戒免職となり改めて聖餐の意味が問われるきっかけとなった。懲戒免職という刑法上の問題ではなく信仰の問題としてとらえるべきではないか。

\*聖餐、愛餐とは？

イエスと共にある食事をみる。大酒のみで大食漢と言われていたイエスは、当時一人前の人間として扱われていなかった女性、子供をはじめとして不浄な者とされていた人々(病人、心身に障害を持つ人など)、ユダヤ人社会から差別され疎外されていた人たち(取税人など)と共に食事をなさった。山上の説教の食事では奇跡が起こる。このような食事はパリサイ人から非難されていた。では聖餐を受けるのにどのような資格が必要なのだろう。

\*12弟子と共にされた最後の晩餐

12弟子はイエスから洗礼を受けていたかどうか聖書から知ることはできない。

受洗の有無は不明だが最後の晩餐では聖餐(愛餐)にあずかっている。

復活のイエスは弟子たちに現れ焼魚を食べて見せ弟子たちに生前のイエスを思いださせた。

\*コリント教会の問題 パウロのコリント教会への怒り

主の聖餐を受けるのに「ふさわしくない」人々とはどのような人か。

コリント教会では受洗者も未受洗者も共に聖餐を受けていた。問題は教会の主導者たちが先に来て食事をしてしまいあとから来た者には食べるものがなかったことである。さまざまな事情で時間通りに教会に来られなかった弱い立場の人への愛と配慮がなかった。

「ふさわしくない」とは隣人への愛のないことである

\*イエスはすべての人を分け隔てなく聖餐に招いて下さる。

その招きにあずかる時、資格、条件は問題ではない。それは人間の考えである。

イエスの食卓はだれにでも開かれている。愛と信仰の交わりがあるとみながパンを分かち合うのが聖餐、愛餐である。洗礼から聖餐へ、でなく聖餐から洗礼へ導かれるこ

とはごく自然な事と思われる。受洗者も自分の信仰をよく確かめて聖餐を受けるかどうか決めることが大切である。

オープン聖餐についての理解が深まり大変勉強になった。

## 6月の例会

6月27日(金) 於聖アンデレ教会

・「ガリラヤのイエシュエ」(山浦玄嗣訳)を読む。  
ルカ書10・25～”親切なサマリア人の話”

出席者；聖アンデレ教会/笹森司祭・太田聖職候補生、森泉澄江、阿部、三浦、工藤、吉村司祭、柳生、塚田、元村

ケセン語訳新約聖書でご存じの方も多いと思いますが、山浦さんの新たな訳書として刊行された同書と、現代使われている共同訳聖書との読み比べも交え、笹森司祭の丁寧な解説を聞きながら、当時の社会を思い浮かべながら、何度も全員で輪読しました。

笹森司祭より

①「隣り人」とはだれでしょう？

②このたとえ話でイエス様は何を伝えようとしたと思いますか？

③自分をこの登場人物に当てはめるのであれば、だれに近いと思いますか？

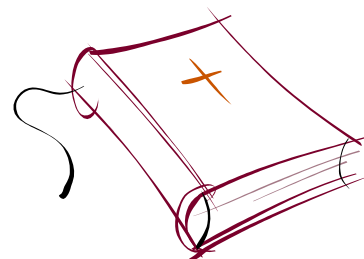
と、自分に振り返るポイントを示唆して頂き、各自思ったこと・感じたことを共有しました。

そして、新たに様々な思いを胸に、豪雨の中、家路につきました。

「いつでも生き生き明るく生きる(永遠の命)」のは大変だよ～ってことですよね・・・と、どなたかがつぶやいた声が耳に残っています。

元村記

(追記) 今回一緒したアンデレ教会の太田信三さんは、前にキャンドル会で私達を導いて下さった太田博之氏の息子さんです。主に感謝！



## 7月の総会

7月25日(金)

管区事務所会議室

出席者：佐藤光子、森泉弘次、森泉澄江、三浦万都美  
元村多恵、阿部園子

2013年9月からの例会の振り返りを行いました。本年度から年間のテーマを決めて行うことになっていました。本年度は「神の恵みとしての自然」。テーマにとらわれることなく行われた例会もありましたが、テーマがあった方がよいのではとの意見が多く本年度もテーマを決めることに致しました。ただしあくまでも例会の担当の方にお任せするというので、テーマにとらわれることなく自由な例会もお願いしたいと思います。

本年度は「差別の克服」という少し重いテーマになりました。

MJM-NYからもMJM東京の活動は支えになっているようで、例会が毎月行われていることに例会を担当して下さる方にあらためて感謝を申し上げたいと思います。

昨年の11月より塚田史子さんのご紹介で、吉村司祭が例会に顔を見せて下さるようになり、吉村司祭とロイド先生のお関係をお聞きしてあらためて神様のお恵みがMJMを通してNYと日本をつないで下さっていると感じています。

本年度もまたMJMの皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

## 2014年9月からの例会予定

☆ 今期のテーマは「差別の克服」

9月の例会 担当：元村

9月19日(金) キャンドル方式の聖研

聖アンデレ教会の太田聖職候補生ともに

場所：聖アンデレ教会 ショホール(礼拝堂横)

時間：10時30分から12時30分

10月の例会 担当：阿部

10月 映画鑑賞会「大統領の執事の涙」

場所：聖オルバン教会か聖アンデレ教会

時間：10時30分から

11月の例会

11月12日(水) 植松功兄のテゼ

場所：管区事務所、会議室

時間：10時30分から12時30分

12月の例会

12月 クリスマス会

場所：聖アンデレ教会

吉村司祭司式 クリスマス礼拝 と 祝会

## 2015年度例会

1月 三鷹教会 担当：山根姉

2月 担当：森泉先生

3月 黙想会 担当：塚田姉 (予定)

\* 4月3日(金) 聖アンデレ教会  
教区の受苦日礼拝に参加する\*

4月 「聖餐式」 担当：山本兄 (予定)

5月 新生教会 担当：佐藤姉

6月 聖アンデレ教会 担当：元村姉

7月 総会

## TEKNAの担当

2014年クリスマス号 森泉先生

2015年イースター号 吉村司祭

2015年8月号 阿部

## 2013年度の会計報告

(自2013年度9月～至2014年度7月)

(金額単位：円)

月日	入金明細	金額	月日	出金明細	金額
9月1日	前年度繰越金	30,587	9月～6月	会場場所献金 (10月～6月)	14,000
	年会費	36,000	8月	テクナ発送費	6,882
	席上献金	7,500	クリスマス	テクナ発送費	5,475
	預金利息	6	イースター	テクナ発送費	4,600
			3月	コピー代・文具代	205
			7月	次年度繰越金	42,931
	合計	74,093		合計	74,093

\* 献金について

2013年度の献金はMJMNYを予定していたが、未献納。来年度と一緒に捧げます。

2014年度のクリスマス献金先は各5千円で、MJM NY、マリア食堂、NSKKの「一緒に歩こうパート2」にお捧げする。

年会費のお振込みを頂き、ありがとうございます。

感謝いたします。

SPECIAL THANKS TO:

森泉弘次、森泉澄江、阿部園子、佐藤光子、小幡詩子  
山根弘子、芝龍之助、横山融、丸山敬子、辛島佐和子  
川崎かれん、船久快子、西牧ウタ、佐藤泉、三浦万都美、  
内堀怜子、梶山順子、陶浪まり、山添圭子、竹内紀子、  
岸郁子、望月保彦、工藤貴美子、元村多恵  
(敬称略、及び順不同にてお許しください。)

何かご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

会計係：元村多恵

☆年会費のお振込み用紙を同封いたしますので、

今年もどうぞよろしく願いいたします。☆

編集：阿部園子